

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有成分	文献	症例	通正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
5	2007/04/03	70005	ニプロ ファーマ	ヘパリンナトリウム注射液 ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム リウム	ブタの小腸粘 膜	中国、アメリカ、 カナダ、 オーストラ リア	有効成分	無	無	無	クロストリジウ ム感染	YAHOO ニュース (2007年2月22日 読売新聞)	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫」を発症させる。同センターは、「気腫菌」は人にも感染しないというのがこれまでの常識だった。詳しい感染経路を調べることが今後の課題」としている。
6	2007/04/03	70008	ニプロ ファーマ	コンドロイチン硫酸ナトリウム・サリチル酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの軟骨	米国	有効成分	有	無	無			
7	2007/04/05	70007	武田薬品 工業	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ウサギ腎細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
8	2007/04/05	70008	武田薬品 工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ウシ血液	ウシ血液	ニュージー ランド	製造工程	無	無	無			
9	2007/04/06	70009	東菱薬品 工業	ハトロキソピン	ハトロキソピン	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
10	2007/04/06	70010	東菱薬品 工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	中華人民共和 国	有効成分	有	無	無	ロタウイルス腸 性	J Clin Microbiol 2006; 44: 4101- 4112	臨床的に感染した子牛から分離したウシA群ロタウイルス株KJ44とKJ75の11の遺伝子の配列をシーケンスし、解析した。うち2つはウシ関連株との関連を示したが、残り9遺伝子はブタA群ロタウイルスと密接な関連を示した。KJ44とKJ75はG5ロタウイルスと高いアミノ酸相同性を示し、典型的なブタロタウイルスであるNSP4 genotype Bに属した。G5遺伝子型ウシロタウイルス株はウシ株とブタ株間の自然再構築の結果発生した、新規のワシンにおけるG遺伝子型であることが示唆された。
												細菌感染	Vet Microbiol 2006; 118: 148-150	ペットのワサギのイヌに咬まれた傷からCapnocytophaga canimorsusが培養された。傷は治療が成功し、ワサギは回復した。ヒト以外の種におけるC. canimorsus感染の最初の報告である。
11	2007/04/09	70011	デンカ生 研	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水溶液	ウシの乳	ニュージー ランド又は オーストラ リア	製造工程	無	無	無			